

つるおか

令和4年

3月定例会号
R4.5.1 発行

Vol. 71

市議会だより



今年も豊作でありますように

4月5日に金峯神社の祈年祭が行われ、地区住民らが参列しました。神事では、黄金小児童が田起こしや代かき、種まき等の農耕の所作を行う「田業式」を奉納。今年の農作業の安全と五穀豊穡を祈願しました。

3月定例会の概要	P 2
議案一覧	P 3
定例会のポイント	P 4
委員会審査	P 6
総括質問	P 8
一般質問	P 11

議会の概要

令和4年度予算、
3年度補正予算など
36件を審議

3月定例会は、3月1日に開会し、市当局が27件の議案を提出しました。請願1件については、所管の常任委員会に付託しました。

上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の決議2件及び意見書4件を含め審議し、23日間の会期を経て、3月23日に閉会しました。(議案・請願・決議・意見書の内容と審議結果は3頁)

市当局が令和4年度予算を含む議案27件を提出

開会初日は、市当局が予算議案14件、条例議案6件、事件議案5件、人事案件2件、計27件の議案を提出し、各会派を代表して7人の議員が総括質問を行いました。(質問内容は8～10頁)

3月定例会日程

- 1日 本会議 (総括質問)
- 2日 予算特別委員会
- 3・4・7日 本会議 (一般質問)
- 8日 本会議、
予算特別委員会
- 9・10・11・14日 常任委員会
- 22日 予算特別委員会
- 23日 本会議

22人の議員が市当局に対し、市政全般について一般質問を行いました。(質問内容は11～15頁)

また、3日の本会議では、議員が議会第2号の決議案を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

3年度補正予算議案5件を全員賛成で承認及び可決

8日の本会議では、予算特別委員長が補正予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議第4号から議第8号までの5件を全員賛成で承認及び可決しました。

各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

本会議終了後は、予算特別委員会を開催し、4年度予算議案9件についての提案説明の後、各分科会に分割付託しました。

9日に総務、10日に市民文教、11日に厚生、14日に産業建設の各常任委員会を開催しました。常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。(審査内容は6～7頁)

また、厚生常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

予算特別委員会で分科会報告

22日の予算特別委員会では、各分科会委員長が4年度予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で可決しました。

意見書3件を可決、条例・事件・予算議案は全員賛成で可決

議会最終日の23日、議員提出の意見書4件を審議し、議会第3号から議会第5号までの3件は表決の結果、全員賛成で可決、議会第6号は討論の後、表決の結果、賛成少数で否決しました。

次に、各常任委員長が条例及び事件議案について、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議第9号から議第28号までの20件を全員賛成で可決しました。

また、請願第1号については、厚生常任委員長からの申出のとおり、継続審査としました。

続いて、市当局が予算議案及び人事案件各1件を追加提出し、議第31号は質疑の後、表決の結果、全員賛成で可決、議第32号は表決の結果、全員賛成で同意

しました。

(人事案件の内容は左記)

最後に、議会が議会第7号を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

人事案件の結果

人権擁護委員候補者

- 鈴木 元女 氏 (小淀川)
- 齋藤 俊美 氏 (山五十川)
- 庄司 敏明 氏 (末広町)
- 田村 廣実 氏 (羽黒町手向)
- 佐々木はつ子氏 (田代)
- 清野 美智子氏 (大網)
- 加藤 孝夫 氏 (大部町)
- 蓮池 昇 氏 (下山添)
- 加藤 完治 氏 (羽黒町松尾)
- 小鷹 真也 氏 (八色木)

情報公開・個人情報保護審査会委員

眞田 順久 氏 (三光町)

教育委員会教育長

布川 敦 氏 (美咲町)

22人が一般質問 決議案1件を可決

3日、4日、7日の3日間、

開会2日目に、予算特別委員会を開催し、付託された予算議案のうち、3年度補正予算議案5件について審査を行いました。提案説明の後、質疑を行い、表決の結果、全員賛成で承認及び可決しました。

予算特別委員会を開催 3年度補正予算議案を審査

次に、議第29号及び議第30号を審議し、表決の結果、全員賛成で同意しました。

上程された議案は、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。

3日、4日、7日の3日間、

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第4号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第2号）の専決処分の承認について	予算特別	承認 (全員賛成)
議第5号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算（第11号）	予算特別	
議第6号	令和3年度鶴岡市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第7号	令和3年度鶴岡市休日夜間診療所特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第8号	令和3年度鶴岡市病院事業会計補正予算（第2号）	予算特別	
議第9号	令和4年度鶴岡市一般会計予算	予算特別	
議第10号～議第14号	令和4年度鶴岡市特別会計予算	予算特別	
議第15号	令和4年度鶴岡市病院事業会計予算	予算特別	
議第16号	令和4年度鶴岡市水道事業会計予算	予算特別	
議第17号	令和4年度鶴岡市下水道事業会計予算	予算特別	
議第18号	鶴岡市先端研究産業支援センター設置及び管理条例の一部改正について	総務	
議第19号	長沼辺地に係る総合整備計画の策定について	総務	可決 (全員賛成)
議第20号	中川代辺地に係る総合整備計画の一部変更について	総務	
議第21号	旧櫛引町スクールバス設置及び管理条例の一部改正について	市民文教	
議第22号	指定管理者の指定について（鶴岡市自然学習交流館）	市民文教	厚生
議第23号	鶴岡市国民健康保険税条例の一部改正について 所得割率、平等割額を改正するとともに、平等割額の軽減額を改めるもの	厚生	
議第24号	指定管理者の指定について（鶴岡市藤島ふれあいセンター）	厚生	産業建設
議第25号	鶴岡市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正について	産業建設	
議第26号	鶴岡市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について 月山山麓地区造成施設整備基金を新たに設置するもの	産業建設	産業建設
議第27号	鶴岡市集落排水事業分担金徴収条例の一部改正について 分担金の賦課及び納付方法の見直しを行うもの	産業建設	
議第28号	指定管理者の指定について（櫛引パーキングエリア地域拠点施設）	産業建設	省略
議第29号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	
議第30号	鶴岡市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	省略	
議第31号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算（第12号）	省略	可決 (全員賛成)
議第32号	鶴岡市教育委員会教育長の任命について	省略	同意 (全員賛成)

▼議員（議会）提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第2号	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議について	省略	可決 (全員賛成)
議会第3号	地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書の提出について	省略	
議会第4号	介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書の提出について	省略	
議会第5号	水田活用の直接交付金の見直しに関する意見書の提出について	省略	否決 (賛成少数)
議会第6号	「敵基地攻撃能力の保有」の検討を行わないことを求める意見書の提出について	省略	
議会第7号	令和4年度における皆川治市長の選挙運動費用収支報告書不記載・訂正等問題並びに本市職員に対するパワハラ疑惑に関する調査特別委員会の調査経費に関する決議について	省略	可決 (全員賛成)

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第1号	人道的見地から沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を採掘し埋め立てに使用しないよう国に意見書提出を求める請願	厚生	継続審査

3月定例会のポイント

除雪対策費が過去最高の25億円超に（議第31号）

今冬は例年に比べ、冬型の気圧配置が長く続いた影響により、12月下旬から積雪量が増え続け、鶴岡公園の積雪深は過去最高の102cmを観測するなど、近年にない大雪に見舞われました。

除雪対策費については、当初予算に5億6,281万円を計上。その後2度にわたり専決処分を追加しましたが足りず、更に追加する補正予算案が3月23日に提出され、全員賛成で可決しました。

この結果、令和3年度の除雪対策費の予算総額は、これまで過去最高だった平成29年度の約20億円を大幅に上回る25億7,881万円となりました。



市内各地は大雪に（淀川町）

小児（5歳～11歳）ワクチン接種関連予算を可決（議第5号）

新型コロナウイルスの発症及び重症化を予防するため、5歳以上11歳以下の小児も、希望によりワクチン接種が可能となったことを受け、接種に係る補正予算案が提出され、全員賛成で可決しました。

対象者：5歳～11歳で接種を希望する方
ワクチン：小児用ファイザー社ワクチン
場所：指定の医療機関（個別接種）、
羽黒コミセン（集団接種）



1月臨時会の概要

1月25日に1月臨時会を開催し、予算議案2件の審議を行い、全員賛成で承認及び可決しました。また、12月定例会から継続審査となっていた懲罰動議、議員提出の百条調査特別委員会設置に関する決議案については、いずれも賛成多数で可決しました。（内容は5頁）

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第1号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第1号）の専決処分の承認について	省 略	承認 (全員賛成)
議第2号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算（第9号）	省 略	可決 (全員賛成)
議会第19号	田中宏議員に対する懲罰動議について	懲罰特別	可決 (戒告)
議会第1号	皆川治市長の選挙運動費用収支報告書不記載・訂正等問題並びに本市職員に対するパワハラ疑惑の調査に関する決議について	省 略	可決 (賛成多数)

2月臨時会の概要

2月7日に2月臨時会を開催し、新型コロナ対策として宿泊施設等緊急支援事業及び小規模事業者経営継続支援事業に要する経費を計上した予算議案の審議を行い、全員賛成で可決しました。

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第3号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算（第10号）	省 略	可決 (全員賛成)

田中宏議員に対する懲罰動議

公開の議場における 戒告の懲罰を科すことを可決

令和3年12月16日の12月定例会本会議・請願審議における田中宏議員の賛成討論に、議員個人を特定して侮辱する不穏当な発言があったとして、一部議員が懲罰動議を提出し、委員会条例の規定に基づき、懲罰特別委員会が設置されました。

同委員会では、当該発言が懲罰事犯に該当するの否等について審査を行い、賛成多数で

公開の議場における戒告の懲罰を科すべきと決しました。

その後、1月臨時会において、懲罰特別委員長が委員会の審査報告を行い、田中議員の一身上の弁明、討論の後、表決の結果、賛成多数で公開の議場における戒告の懲罰を科すことを可決。この議決に基づき、議長が田中議員に対し戒告文を朗読しました。

百条委員会を設置

市長の100万円授受問題と 市職員に対するパワハラ疑惑の調査へ

1月臨時会において、議員が、皆川治市長の選挙運動費用収支報告書不記載・訂正等問題並びに本市職員に対するパワハラ疑惑の調査に関する決議案を提出し、質疑及び討論の

後、表決の結果、賛成多数で可決し、百条調査特別委員会を設置しました。

今後、同委員会で調査を進め、問題の経緯等を明らかにしていきます。

委員長	副委員長	委員									
佐藤 博幸	加藤 鑛一	草島 進一	田中 宏	石井 清則	菅井 巖	富樫 正毅	黒井 浩之	石塚 慶	佐藤 昌哉	五十嵐一彦	尾形 昌彦

百条委員会…地方自治法第100条に基づき、議会の議決により設置される調査委員会の略称。当該自治体の事務に関する調査を行うため、関係者の出頭、証言、記録の提出を求めることができ、正当な理由がなくこれを拒否した場合又は虚偽の陳述を行った場合は、刑事罰に処せられる可能性があります。



政治倫理審査会を設置

政務活動費の不適切な支出問題を受け審査

新政クラブの政務活動費の車賃（ガソリン代）について、費用弁償が支給されている公務と重複して車賃を支出したケースや、市議会の手引きに沿わない支出があったとして、3月23日に長谷川剛議員、遠藤初子議員及び南波純議員が市議会議員政治倫理条例に基づき、新政クラブの議員5人を審査対象とした審査請求書を提出。同条例の規定に基づき、議長が市議会議員政治倫理審査会を設置し、審査を付託しました。

3月29日に開催した同審査会では、審査対象の議員は故意性を否定したものの、手引きの理解不足等により不適切な支出であったことを認め、謝罪しました。その後、4月8日の審査において、全会一致で審査対象の議員5人に政治倫理基準違反があったと認定しました。

今後、同審査会は各議員に対する措置を協議した上で議長に報告し、議長は報告を踏まえ、必要な措置を講ずることとなります。

委員長	副委員長	委員			
富樫 正毅	坂本 昌栄	石井 清則	阿部 寛	佐藤 昌哉	

委員会審査

提案された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。審査の主なものを掲載します。

予算特別委員会 総務分科会

旧まちなかキネマへの支援目的は

委員 旧まちなかキネマの改修事業補助金の目的は、まちなかキネマの改修なのか、それとも福祉事業として捉えればよいのか。

政策企画課長 建物を取得した鶴岡市社会福祉協議会が、中心市街地の振興等に寄与するため、映画館機能の一部を残し、交流スペースとしての活用を模索していたところに、その運営を山王まちなかキネマ株式会社が担うという構想が生まれ、市も加わり三者で事業に取り組むこととしたものである。社協への補助ではあるが、地域活性化事業として、映画館の改修に対し補助するものである。

庄内入部記念事業をどう生かすか

委員 酒井家庄内入部400周年記念事業はイベント中心と感じる。この事業を契機に、これから100年先の人づくり、まちなかキネマへの発信が必要と思うが、今後の方向性は。

政策企画課長 この事業は、庄内地域における郷土への愛着や誇りの醸成を目的としている。講演会といったイベントのほか、この地

の歴史等をまとめた小冊子の小中学生への配付、高校生の古文書体験など、歴史・文化の継承に取り組んでいく。次代の柱となる人材の育成、まちなかキネマへの発信は、実行委員会が組織する各専門部会で検討しており、今後取組を進めていく予定である。

スマホでの納付が順調に推移

委員 スマホ決済アプリ利用による市税等の納付が開始されたが、その状況は。

納税課長 令和3年度に市税等4税、介護保険料及び後期高齢者医療保険料を対象に、ペイペイ及びラインペイによる納付を開始した。2月末現在で、当初見込みを上回る約7,600件、約1億3,000万円の納付があった。この要因として、在宅で納付できる利便性や非対面での納付が感染予防につながるなどがあると分析している。

子育て施策には恒久財源の活用を

委員 ふるさと寄附金が15億円を超えたら子育て支援に、20億円を超えたら給食費無償化に充当したいとの市長答弁があったが、これらの支援には恒久的な財源を確保すべきではないか。

財政課長 子育て施策には恒久的

な財源の充当が基本であるが、ふるさと寄附金の増収に向けて、全庁を挙げて取り組んでおり、今後、子育て支援に注力していく中、寄附金の増収分を新たな政策的経費に充てていくことも、有効な財源の活用方法と考えている。

予算特別委員会 市民文教分科会

消防団員報酬が個人支給に変更へ

委員 消防団員報酬は4月から個人に直接支給されるが、源泉徴収や確定申告などへの対応は。

警防課長 国の通知を待っている状況であり、届き次第、消防団員への周知、対応に努めていきたい。

学校のいじめ件数は増加傾向に

委員 いじめが大きな社会問題となっているが、本市の現状は。

学校教育課長 2年度は小学校1、531件、中学校199件、3年度は小学校1、727件、中学校282件（各年度とも1学期と2学期の計）となっており、認知件数は増加傾向にある。これは、積極的な認知の取組がなされているとも捉えられ、一概に増加しているとは言えないが、学校としては、いじめの解消に注力している。

荘銀タクト鶴岡の運営状況は

委員 指定管理に移行して約1年経過するが、現在の状況は。

社会教育課長 3年度当初はコロナ禍の影響もあり、集客が250人程度の公演もあったが、緊急事態宣言が明けた秋以降は、1,000人規模の催しもあった。スタッフは13人であり、感染対策を取りつつ加茂水族館とタイアップした事業を行ったり、季節ごとに館内をライトアップしたりするなど、創意工夫しながら順調に取り組んでいる。



館内をライトアップした
荘銀タクト鶴岡

予算特別委員会 厚生分科会

第三学区放課後児童クラブ整備は

委員 整備に向けて検討を重ねてきているが、現在の進捗状況は。

子育て推進課長 現在の建物の敷地は公道に面しておらず、接道要件を満たさないと整備ができない。そのため、接道要件を満たすように、三小プール前の職員駐車場から通路を確保することを検討している。併せて、プール脇の県所有の空き地を取得できないか、協議中である。

温泉施設の経営改善の目標達成は

委員 長沼温泉ぼっぱの湯とくしびき温泉ゆ〜Townの管理運営事業は、前年度に比べ予算が増額となっているが、この要因は。また、経費縮減、利用者拡大の目標数値は達成されたのか。

藤島庁舎支所長 増額の主な要因は、燃料の高騰により燃料費が増加したことにある。ぼっぱの湯は見込みどおり約200万円の経費縮減を達成したが、ゆ〜Townは700万円の見込みに対し、367万円の縮減にとどまった。また、令和元年度の利用実績を利用者拡大の目標数値としていたが、新型コロナウイルスの影響もあり、両施設とも目標数値には届かなかった。

新生児の聴覚検査に助成へ

委員 新生児の聴覚検査に助成し、また、視覚検査には新たに屈折検査機器を導入するが、この概要は

健康課長 新生児の聴覚障害を早期に発見し、言語発達への影響を最小限とすることを目的に実施する新生児聴覚検査について、検査費用1回につき3,500円を上限に助成する。検査結果を健康課で把握することで、その後の支援にもつなげていきたい。また、弱視の早期発見のため、3歳児健診の視覚検査において屈折検査機器を導入し、より精度の高い検査を行っていく。

予算特別委員会 産業建設分科会

SEADSの計画は甘いのでは

委員 農業経営者育成学校SEADSの創設当初の計画と現計画では大きな差が出ており、見通しが甘かったと言わざるを得ない。現計画も今後研修生が一人も離農しないことを前提としたものとなっており、もう少し現実的な計画を策定すべきと考えるが見解は。

農政課長 当初計画が甘かったとの指摘は事実であり、おわび申し上げる。確かに、研修生が離農しない保証はないが、現計画では、一人当たりの売上額を低く抑えたものとしている。どの条件設定が正しいかの見極めは難しい面もあるが、更に検証し、計画を策定していきたい。

親元就農を増やすための対策を

委員 農業次世代人材投資事業補助金は、親元就農の場合、会計を分ける必要があるなど、実態に合わず、非常に使いづらいといった意見が農家から寄せられている。今後、農業後継者を確保していくためには、新規就農者よりも親元就農が増えることが一番望ましい形だと思うが、その対策は。

農政課長 同補助金の経営開始型については、親と経営を区分する必要があるほか、作付品目を変更するなど、新たな取組が条件となるため、単なる親元就農では交付対象とならない。そのため、親元就農の場合、市単独のオーダーメイド型補助金や、国と県の協調による新規就農者育成総合対策、国の経営継承・発展等事業などで、活用できそうなメニューを紹介している。今後、改めて整理した上で、農協等とも連携しながら、様々な事業を有効に活用してもらえようPRしていきたい。

道の駅「しゃりん」の跡地利用は

委員 道の駅あつみ移転整備事業について、現在の道の駅あつみ「しゃりん」は、海がすぐ近くに見え、

すばらしい立地条件にあるため、地元ともよく協議した上で、移転後の跡地利用を検討してもらいたい。現在の検討状況は。

温海庁舎産業建設課長 現在の道の駅敷地については、トイレを含めた情報館部分は国に、それ以外は株式会社クアポリス温海に無償貸付している。跡地利用については、3年度に温海庁舎内に検討会を立ち上げ、庁内の関係部署と情報共有しながら検討しているが、4km以内と同様の機能を持つ店舗があると競合し好ましくないという基本的な考え方を確認している。4年度は情報館部分に係る国の意向も確認した上で、立地条件を生かせるよう検討していきたい。



鼠ヶ関IC(仮称)周辺に道の駅機能を移転する道の駅あつみ「しゃりん」(早田)

総括質問

市長提出議案に対して、
会派を代表して質問します。
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」

本会議の生中継・録画配信を行っています。



YouTube 鶴岡市議会



質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

鼠ヶ関IC周辺の道の駅整備の進捗状況は

新政クラブ 五十嵐 一彦 議員



議員 日沿道の鼠ヶ関IC（仮称）周辺への新たな道の駅整備に向けたPFI（※）等導入可能性調査の進捗状況は。

市長 令和3年度、官民連携手法の導入可能性調査を実施しており、道の駅利用者、地元生産者、団体等へのアンケート、ヒアリングを経て、11月からは民間事業者との意見交換を行ってきた。その結果、建設事業者及び道の駅等の運営実績がある事業者から、需要予測や施設規模等はおおむね妥当であり、事業採算性が見込まれるとの評価を得ている。市場調査の結果、民間活力による創意工夫と事業費節減効果が期待できることから道の駅整備事業は官民連携手法を導入する予定とし、4年度からは事業者選定及び用地取得に着手するなど、9年度の開業を目指して、計画的に事業を進めていきたい。

ほかの質問

予算編成方針、
商工観光・農林水産振
興
など

※PFI…Private Finance Initiativeの略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

18歳までの医療費無償化へ向けた取組は

新政クラブ 本間 正芳 議員



議員 本市の医療費無償化は15歳までだが、県内では3分の2の市町村が18歳まで実施している。財源の問題もあるが、本市で実施する考えは。

市長 県内24市町村が18歳までの無償化を行っている。「育む・遊ぶ・学ぶ・働く・結ぶ・住む」の六つの視点を重視した若者・子育て世代応援プロジェクトの推進が重要であるが、本市の子育て世代に対する負担軽減支援は遅れているため、財源のめどをつけて、できるだけ早急に取組みたい。

議員 第3子以降の給食費無償化の効果はどうだったのか。

市長 平成30年度から実施している第3子以降の給食費無償化については、毎年度全児童・生徒の約8%が該当している。3年度は対象者761人、金額で4,281万円を見込んでおり、子育て世代、多子世帯の負担軽減に寄与している。

ほかの質問

新型コロナ対策、
学びと交流、
市民スポーツの振興

荘内病院の新型コロナ対策は

日本共産党鶴岡市議団 長谷川 剛 議員



議員 荘内病院は、陽性者の受入れをはじめPCR自主検査センターの設置など、新型コロナ対策の最前線に対応に当たっている。

コロナ禍の対応は長期にわたっているが、第6波における荘内病院の主な取組は。

病院事業管理者 主な取組として、保健所からの誘導による濃厚接触者へのPCR検査等の実施や、陽性者の入院の必要性と今後の重症化リスクを判断するトリアージ診療を実施している。トリアージ後は自宅療養者に対し、地域の医療機関や医師会から毎日電話診療、健康観察を実施してもらい、連携、協力しながら対応に当たっている。陽性患者で重症化リスクが高いと判断された方には、積極的に中和抗体薬、経口薬等の投薬による入院・外来診察を行い、重症化を未然防止することで、介護が必要な高齢者の入院などを最小限に抑えている。

ほかの質問

大雪対策、デジタル化戦略、「ほとりあ」の運営

産業用地開発など市政運営方針の取組は

鶴岡市議会公明党 秋葉 雄 議員



議員 若者・子育て世代を重点的に支援するため、ベンチャー企業の受皿整備や中小企業の振興を掲げているがこの概要は。

市長 ベンチャー企業の事業活動の受皿として市先端研究支援センターに20室を増築するほか、コロナ禍での新分野への事業展開や業種転換等への支援や、新規創業への助成に取り組む。

議員 新たな産業用地の開発も掲げているが、どの地域にどのような産業を立地させるのか。

市長 現在、具体的な地域の選定に向けて、検討資料となる開発基本計画の策定作業を進めている。想定している業種としては、本市の強みである電子・デバイス関連の新規投資や、市内立地企業の事業拡大、施設の老朽化などに伴う建替え等の用地需要、さらにサイエンスパーク内のベンチャー企業等の事業化の受皿にもなり得る産業団地として整備を進めていきたい。

ほかの質問

行財政改革、国保税条例の改正、SEADS

サイエンスパークへの投資の市民メリットは

市民フォーラム 工藤 博 議員



議員 本市が重点事項と位置付けているサイエンスパークへの投資は、市民にとって本当にメリットがあるのか。

市長 同パークは、研究開発や企業活動に560人超が従事し、UIターン者も就業する知的産業エリアとなっている。慶應先端研等による地元高校生など若い世代の人材育成や、バイオベンチャー企業創出などの取組が行われ、メタボローム解析技術を活用した産業振興が図られている。令和4年度には20室から成る新棟が完成予定であり、今後更なる研究開発、雇用創出が期待されている。さらに、市民に身近なエリアとなるよう交流できる施設としての活用にも取り組む。同パークへの投資が雇用創出や経済効果の押し上げだけでなく、広く人材育成や地域づくりにもつながるよう、引き続き県と一体となって支援していく。

ほかの質問

市政方針、定員適正化

「全世代全対象型」地域包括ケアを目指して

SDGs鶴ヶ岡 田中 宏 議員



議員 総合計画に掲げられた「全世代全対象型地域包括ケアシステム推進プロジェクト」に関連して、重層的支援体制整備事業の考え方と整備スケジュールは。また、従来の高齢者対象の地域包括ケアから、全世代全対象型にどうシフトするのか。

市長 国の補助制度を活用して、令和4年度から三つのモデル地区で移行準備事業を実施し、7年度からの本格実施に向けて、相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援という三つの支援体制を段階的に整備する。高齢者や障害者、子供、生活困窮者など幅広く対象とする地域包括ケアを目指して、医療と介護の連携を推進するとともに、既存の分野の協働による相談支援体制の構築、住民主体の地域支援合いの取組も促進する。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の構築を目指していく。

ほかの質問

なし

新朝日庁舎のZEB化の検討は

市民の声・鶴岡 草島 進一 議員



議員 総工費約15億円の朝日庁舎の改築について、4年度は設計費が計上されているが、CO₂排出ゼロを目指す本市として、新庁舎のZEB[※]（※）化を検討してはどうか。また、新庁舎をデジタル政策拠点とするようだが、組織機構の在り方は。

市長 チップボイラーや太陽光発電等による創エネルギーの積極的な活用と、高効率の空調等によるCO₂発生量の抑制など、ZEB設計ガイドラインに沿った設計を進めていきたい。また、新庁舎は、デジタル技術を活用して過疎対策等の企画・立案・実践に取り組む司令塔としての機能を担う計画である。組織機構の在り方については、行財政改革実施計画により、本所機能の一部移転や組織再編の検討を進めており、職員の適正配置による効率的な行政サービスの提供と地域の活性化を目指していく。

ほかの質問

新型コロナ対策、行政改革、先端研関連事業など

※ZEB…Net Zero Energy Buildingの略。省エネや再生可能エネルギー等の活用により、化石燃料などの一次エネルギー消費量を削減し、年間収支でゼロとなることを目指した建物。

新型コロナに関する要請書を市長に提出



本市の新型コロナの感染は1月中旬以降急拡大し、1月27日から2月20日まで、まん延防止等重点措置が適用されました。

市民生活や地域経済が極めて厳しい状況にあることを踏まえ、鶴岡市議会では議員全員で構成する新型コロナウイルス感染症対策支援本部において、市民の方から寄せられた切実な要望や不安の声を反映した要請事項を取りまとめ、2月10日に市長に提出しました。

休園・休校での影響大 子育て世代への支援を

石井 清 則 議員



議員 コロナ禍において、休園や休校の措置が取られているが、その影響は子供たちだけでなく、保護者や家庭、職場へと連鎖していく。中には、子育てのために仕事を休みたいが休めないという状況も起きているが、対策や取組は。

商工観光部長 休校等になった場合、国は、保護者である労働者に有給休暇を取得させた事業主に対し小学校休業等対策助成金を支給しており、本市でも子育て世代の休暇取得の支援制度として周知を図ってきた。コロナ禍をきっかけに、働きやすい環境づくりの重要性を再認識しており、今後更なる周知を働き掛けていきたい。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●
空き家対策、出羽三山周辺の環境整備

一般質問

市政全般について考え方や方針などを
市当局に質問します。
各議員 1 項目について概要をお知らせします。

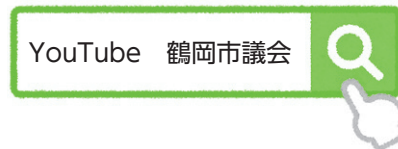
質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。
※総括質問を行った議員を除く17人の質問を掲載します。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。



雪に強いまちづくりの 実現へ

富 樫 正 毅 議員



議員 高齢社会において冬期間の雪処理に係る負担は大きい。そこで、中長期的な視点に立ち、今後の雪対策を推進する上で確かな目標を定め、国土交通省の支援メニュー等の施策を着実かつ戦略的に展開していくことが重要であることから、県の計画と連動した形で雪対策基本計画を策定すべきと考えるが見解は。

市長 市としても雪対策を充実させていく必要があると考えている。毎年、豪雪対策に追われているが、長期的な視点を持ち、議員の指摘を踏まえて実現可能な対策がないか、また、市としての計画づくりが必要か検討していきたい。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●
地域防災力の強化

部活動地域移行の課題は

南 波 純 議員



議員 休日における中学校の文化部活動の地域移行に向けた方向性と課題は。

教育長 保護者会主催のクラブ活動や合同部活動等が休日の部活動の受皿となり、段階的に移行するための方法について話し合う予定である。アンケート調査を実施したところ、外部指導者の不足や指導者への報酬、活動場所を移動する際の楽器輸送、学校開放区以外の場所を利用することによる施設管理の問題等が課題として挙げられた。運動部活動とは異なる課題があることを踏まえ、今後は文化芸術団体等と連携を図りながら、地域移行に向けて検討を進めていく。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●
令和4年度に開催される各種大会、
放課後児童クラブの現状と課題

水田活用の直接支払交付金 見直しの影響は

菅井 巖議員



議員 国は、水田活用の直接支払交付金による転作支援について、今後、5年間一度も米の作付けを行わない農地を交付対象外にするなどの見直しを行うとしているが、特に中山間地の農業への影響は。また、農家からは反対の声があり、十分な理解を得られていないのでは。

農林水産部長 中山間地は水利やほ場の形状等の耕作条件が厳しく、輪作体系が難しい。また、そばの作付けが多く、交付金は収入源の一つとなっている。見直しが行われれば、現場に混乱が生じ、採算も取れず、不耕作農地の増加が危惧されるため、慎重な対応を国に要望していく。

ほかの質問

かたくり温泉「ぼんぼ」、
加茂地区近郊での大型風力発電の建設計画

不公平感に配慮した 消費喚起策を実施すべき

黒井 浩之議員



議員 県では新型コロナ第6波収束後の消費喚起事業を予算化した。この事業を活用して、今回は特にスマホを持たない高齢者等の情報弱者に生じる不公平感に配慮し、幅広い業種に恩恵が行き渡る経済対策として、プレミアム付商品券の発行等を行うべきと考えるが見解は。

商工観光部長 国や県の制度を活用した消費喚起策の必要性は認識している。キャッシュレス決済の取組とともに、スマホを持たない方も利用できるよう紙等での発券や事業実施後の効果検証が可能な手法を研究しながら、感染状況等を勘案し補正予算での対応を検討していきたい。

ほかの質問

子育て世代への臨時特別給付金、
コロナ禍における学びの保障、給食センター整備

プラスチック資源循環法 施行に向けた対応は

加藤 鑑一議員



議員 4月の法律施行を受け、容器包装に加えて製品プラごみの資源としての回収への対応は。

市民部長 プラごみを焼却しないことで、焼却施設の燃焼効率が低下し、助燃材の都市ガスの使用量が増える懸念がある。法施行によるプラごみの減少効果を見据えて、プラごみ一括回収への対応方針を明確化する必要があると考える。

議員 水稲用一発肥料に使われるプラスチック被膜殻が海に流出し海洋汚染の一因になっているが。

農林水産部長 プラシックによる汚染は世界的な課題であり、肥料の被膜殻への認識、防止対策の周知と適切な対応を促すことが重要である。

ほかの質問

新型コロナ対策におけるCO₂モニター設置

10月以降のケア労働者の 処遇改善は

坂本 昌栄議員



議員 保育士・幼稚園教諭等、放課後児童支援員等の処遇改善に係る事業については、10月以降、全て国の負担で実施するのではなく、県及び市の負担が生じ予算化が必要になる。その対応について現時点での考えは。

健康福祉部長 国は、保育所等は公定価格の見直し、放課後児童クラブは子ども・子育て支援交付金の改定により、10月以降も同様の補助を行うとしていて、本事業を恒久的な措置と位置付けている。市としても事業を継続する方針であり、8月頃に制度改正の詳細が示され次第、補正予算を検討していく。

ほかの質問

社会教育施設の老朽化対策、
学校給食費の無償化への対応

都市計画道路の 鶴岡駅外内島線の整備は

佐藤 昌哉 議員



議員 鶴岡駅外内島線の切添大橋～旧消防駅前分署間の整備は、市街地の骨格道路としての機能、交通渋滞の解消、安全・安心な通学路の確保及び水害時の避難時間の短縮などに大きく寄与する。整備に向けて、市の重要事業として要望していくことが第一歩と思うが見解は。

建設部長 鶴岡駅へのアクセス機能や幹線道路として重要な役割を担う路線と位置付けている。冬期間の慢性的な渋滞、児童・生徒の通学路や交通災害時の安全確保は重要な観点であるが、市全体の道路整備は、社会経済情勢等の動向を踏まえ、中長期的な展望の下の要望していく。

ほかの質問

農業振興

労働者協同組合制度を 活用し地域活性化を

石塚 慶 議員



議員 10月に設立可能となる同組合の概要は。

企画部長 労働者が組合員となり、自らが出資、経営、労働の役割を担い、就労機会の自発的な創出と地域活性化に寄与する事業を行うことができ、簡便な手続きで設立できる特徴もある。

議員 本市における具体的な活用のイメージは。

企画部長 本市の課題である除雪、買い物支援、公共交通空白地帯の有償運送、配食サービス、子ども食堂、森林整備、自然体験、森の幼稚園及び産直などが想定される。なお、活用にあたっては、地域ニーズを把握し持続可能な事業にしていくことが重要と考える。

ほかの質問

なし

民生委員・児童委員が 欠員の地域の対応は

阿部 寛 議員



議員 なり手不足で各地で欠員が見られるが、本市の状況は。また、欠員地域の住民から相談等があった場合、どう対応しているのか。

健康福祉部長 本市の委員定数351人のうち、民生・児童委員が7人、主任児童委員が1人欠員しており、いずれも鶴岡地域である。欠員地域で相談等があった場合は、当該地域の町内会役員等が対応したり、他地域の委員がカバーしたりするなどして対応している。また、課題解決が困難なケースについては、単位民生委員組織での話し合いや市の関係機関等へつなぐことにより、解決を図ってもらっている。

ほかの質問

農業振興、除雪の支援、
第23回全国中学選抜卓球大会参加

コロナ禍で臨時休業中の 小・中学校の対応は

佐藤 麻里 議員



議員 臨時休業中に児童等への学習指導・生活指導はどう行ったのか。また、タブレット端末によるオンライン授業を望む保護者も少なくないが、どの程度の学校が行える態勢にあるのか。

教育長 1月～2月に臨時休業した24校のうち、家庭に端末を持ち帰り活用したのは19校であった。オンライン授業は8校が行ったほか、デジタルドリルや体調報告、ビデオ通話機能による朝の会等で活用した学校もあった。オンライン授業の課題は、学校、家庭の通信環境の確保や教員の活用スキルの更なる向上であるが、子供たちのスキルに合わせ研修等を充実させていく。

ほかの質問

5歳～11歳の子供の新型コロナワクチン接種

地域医療と介護の連携体制の構築は

佐藤博幸議員



議員 荘内病院の基本方針、目指すべき方向は。
病院事業管理者 地域の基幹病院として高度医療を担い、医療水準の向上や、地域医療との連携、医療スタッフの確保等に取り組んでいく。

議員 超高齢社会の次に待ち受ける多死社会に備え、在宅医療の推進をどこが担っていくのか。

病院事業管理者 庄内地域保健医療協議会にある専門部会を中心に課題の検討等を行っている。

議員 地域医療構想と地域包括ケアシステムは両輪と考えるが、医療と介護連携体制の構築は。

病院事業管理者 相互の従事者間の連携強化や能力向上の支援を研修会等により図っていく。

ほかの質問
なし

住宅用火災警報器の設置状況は

尾形昌彦議員



議員 本市の住宅用火災警報器の設置状況は。

消防長 設置義務化された平成23年の設置率は72%で、令和3年には81%に上昇した。設置から10年以上経過すると警報器本体又は電池の交換が必要な場合もあるが、約半数の世帯が交換しておらず、稼働点検もしていない世帯は73.7%と高いため、点検と交換の周知を図っていく。

議員 設置に係る本市の補助制度の現状は。

消防長 市民税非課税の一人暮らしの高齢者で要介護2以上の方や重度の障害者世帯に給付制度がある。補助制度ではないが、安価での購入が期待できる共同購入に取り組む町内会もある。

ほかの質問
加茂水族館の大規模リニューアルと観光連携

本市経済を支える地元経営者に更なる支援を

佐藤久樹議員



議員 経営者の多くは、コロナ禍による減収に対し、一時的な融資で対策を講じてきたが、返済が本格化するに当たって、本市の支援内容は。

商工観光部長 2年度から市が事業者の利子や信用保証料を補給する無利子融資制度による支援を行っている。4年度は措置期間を2年から3年へ延長可能にするなど、支援の拡充を図る。地域経済が回復の軌道に乗るまでは一定の期間を要することが想定されるため、今後も市内飲食店等の経営状況や地域経済の実態の把握に努めながら、国・県に対し、必要な財政支援等を要望していきたい。

ほかの質問
農業情勢、コミセンの新改築等

山ぶどうを核とした朝日地域の地域振興を

遠藤初子議員



議員 3年産の山ぶどうは一部が買取りされず、やむを得ず廃棄した生産者もいたと聞かすが、耕作放棄地を増やさないための支援策は。

朝日庁舎支所長 2年度から山ぶどうワイン販賣支援事業に取り組んでおり、醸造用ぶどうの生産者が生産資材の導入やかん水施設等を整備する場合、費用の4分の1を助成している。また、3年度からの取組としてあさひの特産応援事業があり、新たな特産品の創出や生産拡大、付加価値の向上に地域ぐるみで取り組む団体に助成している。山ぶどうの加工品開発にも活用できるため、周知を図っていく。

ほかの質問
障がい福祉、3月から始まる5歳～11歳への新型コロナワクチン接種

市民との協働による 読書環境の整備を



中 沢 深 雪 議員

議員 市長公約で「更なる市民参加の下でのまちづくりの推進」として、「読書のまちの新図書館」を掲げているが、図書館という箱物の建設だけでは読書のまちにはならない。市民と行政が協働して取り組むべき課題と思うが見解は。

教育部長 読書活動の中心的役割を担う図書館本館は、再整備の検討時期にきている。再整備に当たっては、市民参加によるまちづくりの一環として、多くの方々から参画いただき検討することが重要である。文教都市鶴岡のシンボルとなる「魅力ある読書のまちの新図書館」に向けて、市民と行政が協働し検討を進めていく。

ほかの質問

ごみ袋の「記名欄」現状と課題

市長の100万円授受問題 真実を説明すべき



小 野 由 夫 議員

議員 この問題に市民は大きな関心を寄せているが、市長は二転三転の言い訳に終始している。市長支援者の中には、さも議会が悪い、市長を陥れるための策略だという方も現れている。市長は記憶にない等の答弁が多いが、事実関係は。

市長 議員全員協議会等でも説明しているが、法令に対する理解・認識の甘さにより信頼を損なったことについておわび申し上げる。

議員 現実を真摯に受け止め、速やかに辞任し再度信任を得ることが、信頼回復のため市長に課せられた最善の策と考えるが見解は。

市長 今後も本市発展のため、努めていきたい。

ほかの質問

新型コロナウイルスワクチン接種進捗状況と経済対策

市民との意見交換会を開催 ～市民の声を市政へ～

※市議会ホームページ
に詳細を掲載して
います。→



議会について理解を深めてもらうことや、頂いたご意見を市政に反映させていくこと等を目的に、令和3年度も市民との意見交換会を実施しました。

班 名	日 時	場 所	参加者	テーマ
総務班	令和4年1月19日(水) 13:30~15:30	木野俣集落センター	温海地域福栄地区自治会長等 6人	中山間地域の活性化・振興策
市民文教班	令和4年1月19日(水) 13:30~15:00	市役所委員会室	学校運営協議会代表者等 6人	学校と地域の関わり
厚生班	令和4年1月24日(月) 13:30~15:30	市役所委員会室	市内障害者相談支援施設関係者 13人	障害者相談支援施設の現状と課題
産業建設班	令和4年1月17日(月) 15:00~16:50	市役所委員会室	市内農業経営者 6人	本市農業の現状と課題



6月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7 本会議 (開会・総括質問) 予算特別委員会	8	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	11
12	13 本会議 (一般質問)	14 総務 常任委員会	15 市民文教 常任委員会	16 厚生 常任委員会	17 産業建設 常任委員会	18
19	20 常任委員会 予備日	21	22 議会運営委員会	23 予算特別委員会	24 本会議 (表決・閉会)	25
26	27	28	29	請願・陳情 提出期限 5月31日(火)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。
午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

議会を傍聴される 皆さんへ

鶴岡市議会では、新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、傍聴にお越しの方の健康を守るため、次のことをお願いしています。ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・傍聴席の間隔を空けて着席してください。
- ・マスクを着用してください。
- ・入場時に手指のアルコール消毒をしてください。
- ・発熱など体調が優れない方はご遠慮ください。

なお、本会議は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・YouTubeでは生中継及び録画配信も視聴できます。

◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録を閲覧できます。

◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。市議会ホームページをご覧ください。

議会の会議録を閲覧するには



傍聴の様子

議会傍聴アンケート

3月定例会を傍聴された方から寄せられたご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介します。

- ・仕事で平日行けない人や高校生などの傍聴を促すため、議会の土日開催を検討してはどうか。

編集後記

「政治とカネ」、全国各地で度々報道され、あきれて聞きたくない言葉かもしれません。

鶴岡市議会でも、選挙資金や政務活動費の問題がきっかけで、百条委員会や政治倫理審査会が設置されています。一連の問題に対し、市民からは、市政や議会、議員への不信の声も多く届きます。

そんな中、SNS等インターネット上では、真偽が不確かな情報も多く見受けられます。議会からの公式情報を素早く発信する必要があります。改めて感じています。そのためには、議会の広報活動を再検討し、継続した改革が必要だと考えます。民間に比べ課題が目立つ議会からの情報発信。議会だよりやホームページの見直しについて、皆さんの声をお聞かせください。

広報広聴委員会副委員長

石井 清則

発行／鶴岡市議会 編集／広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25
電話 0235-35-1908 FAX 0235-25-2123
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

